

<地域資源活用推進グループ>

- 農商工連携による産業振興
- 中小企業の販路拡大の支援
- 伝統工芸産業の振興
- 中小企業地域資源活用プログラムによる支援

《農商工連携による産業振興》

あおもり農工ベストミックス新産業創出構想（平成18年3月策定）

基本理念

ローカルテクノロジーを活用した農工の連携・融合等による新産業の創出・育成を通じ、本県の産業の活性化、県土の均衡ある発展を図ります。

基本方針

《産業クラスター的手法による地域産業の振興》

- 地域の企業等が、大学、研究機関、支援機関等の関係機関と連携
- 農作物の生産管理技術、グリーンエネルギーやバイオマス資源、機能性を追求した加工・製造等のシーズなどを活用
- 新事業を創出・育成し、これらをクラスターとして形成

戦略プロジェクト

① 新生産システム・グリーンエネルギー活用型生産プロジェクト

農産物生育管理、新エネルギー、バイオマス資源の多角的利用技術の開発・導入等による新たな生産システムの確立を目指す

② グリーンフード&テクノロジープロジェクト

県産農林水産資源が有する生理機能を研究し、機能性食品の商品化や省力・操作性に優れた農業機器等の研究開発・企業化の取組の強化

③ 戦略的流通・販売システム活用プロジェクト

食産業や流通産業と連携した新事業の展開やweb市場等を活用した販路開拓を促進



1 農商工連携ビジネスセミナー

回次	時期・場所	参加者数	内 容
第1回	平成28年9月27日 (八戸商工会議所) 	約30名	<p>□説明:新事業創出支援事業について 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 東北本部 連携推進課</p> <p>■講演:高品質で飲みごたえのある本格派の発泡性日本酒『純米大吟醸活性うすにごり』の開発と販路開拓 講師:合資会社 大和川酒造店</p> <p>■講演:農商工連携を成功に導くキーワード～「事業リーダー」と「連携度合い」～ 講師:中小企業診断士 村上 一幸 氏</p>
第2回	平成28年10月19日 (ヒロロ) 	約30名	<p>□説明:新事業創出支援事業について 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 東北本部 連携推進課</p> <p>■講演:「安全で高品質な善兵衛栗(西明寺栗)を使用した高価値な栗菓子の開発・製造・販売」について 講師:株式会社ゆう幸 代表取締役社長 佐々木 幸生 氏</p> <p>■講演:「6次産業化・農商工連携・食料産業クラスターの系譜と事例分析」 講師:農都共生総合研究所 代表取締役 川辺 亮 氏</p>
第3回	平成28年11月17日 (青森県水産ビル) 	約50名	<p>□説明:新事業創出支援事業について 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 東北本部 連携推進課</p> <p>■講演:食と農のブランド化と目からウロコの6次産業化! ～TPPも怖くない戦略とは～ 講師:有限会社草場企画 代表取締役 草場 佳朗氏</p> <p>■講演:新油糧米「金のいぶき」を原料にしたプレミアム米油及び関連商品の開発と販売 講師:三和油脂株式会社 代表取締役 山口 與左衛門氏</p>

2 農商工連携交流会

名称	時期・場所 参加者数	内 容
<p>あおもり食産業推進フェア (新商品お披露目会&知財実践セミナー)</p> <p>※あおもり食品産業振興チームと共催</p>	<p>平成29年2月9日 ホテル青森</p> <p>約200名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 知財実践セミナー <ul style="list-style-type: none"> 講演: ブランド化のためのネーミング開発 講師: 三浦特許商標事務所 弁理士 三浦 誠一 氏 プレゼン発表: 津軽海峡メバルの地域団体商標登録に向けて 発表団体: 中泊町水産加工課水産係 係長 鈴木 統生 氏 ■ 加工技術セミナー <ul style="list-style-type: none"> 講演: 糖の上手な使い方 講師: (株)林原 糖質事業本部 L'プラザ 岡山ラボ 課長 池上 庄治 氏 ■ 新商品お披露目会・商品づくり相談 <ul style="list-style-type: none"> ○ 県、関係機関等が今年度支援して商品化・最終試作品まで至った新商品の展示 ○ 商品開発、加工技術、支援制度、6次産業化等に関する商品づくり相談対応 
<p>農商工連携推進交流会</p>	<p>平成29年3月8日 ラ・プラス青い森</p> <p>約50名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講演1: 知名度ゼロからの挑戦 フルーツほおずきのブランド化 10年の歩み 講師: (有)早野商店(岩手県岩泉町) 取締役 早野 崇 氏 ■ 講演2: 必然から生まれた農商工連携 ~道の駅 枇杷倶楽部がめざしたもの~ 講師: (株)ちば南房総(千葉県南房総市) 代表取締役副社長 加藤 文男 氏  

3 あおもり農商工連携助成事業(平成21～31年度)

総額28億円のあおもり農商工連携ファンドを造成し、農林漁業者と中小企業者との連携による新商品開発等に対して助成。

■管理運営:(地独)青森県産業技術センター(本部企画経営室)

※支援機関=経営革新支援機関助成事業の略

事業区分	事業名	事業者種別	助成事業者名	所在地
H28 上期	経営革新 助成事業	ブラックベリー類の冷凍方法の確立と販路開拓	中小企業者 株式会社天の川 農林漁業者 有限会社松竹梅造園	青森市 青森市
		青森県産りんごを使用したこだわりゼリーの開発	中小企業者 株式会社ホクユーフーズ	青森市
			農林漁業者 タムラファーム株式会社	弘前市
		県産ニンニクを活用した「アホエンオイル(仮称)」の製造販売事業	中小企業者 有限会社虹の川	八戸市
			農林漁業者 ながうし農産加工企業組合	八戸市
支援事業	青い森の機能性食材普及促進事業	支援機関 株式会社ワイエスフードエッセンス	弘前市	
H28 下期	経営革新 助成事業	摘果果を活用したテキカカビジネス総合ブランド構築事業	中小企業者 もりやま園株式会社	弘前市
			農林漁業者 有限会社アトリエタアクー級建築士事務所	弘前市
		県ニンニク熟成システムの確立及び商品開発	中小企業者 東弘電機株式会社	弘前市
			農林漁業者 後藤昭一	黒石市
		野菜だしの新たな食提案による青森県田子産にんにくの価値創造事業	中小企業者 有限会社静岡屋	八戸市
			農林漁業者 種子にんにく農園	田子町
		果樹剪定枝を活用した地域特産品の開発と販路拡大	中小企業者 合同会社南部どき	南部町
			農林漁業者 達者村農業観光振興会	南部町
		県産りんごを使用して、「丸ごとりんご」をキーワードに新商品開発及び販路開拓	中小企業者 お菓子の工藤	つがる市
			農林漁業者 宮西農園	つがる市
		岩木山麓・嶽のきみを使用した新鮮冷凍パックの開発と販路開拓	中小企業者 株式会社N・S・マネージメント	弘前市
農林漁業者 合同会社秀興	弘前市			
支援事業	稲作地帯の地域資源を活用した資源循環型産業推進支援事業	支援機関 国立大学法人弘前大学農学生命科学部	弘前市	

<H21-H28の支援例>



KimoriCIDRE
(キモリシードル)



おやさい
クレヨン
Vegetabo
~Season3



プロテオグリカンの
むヨーグルト

4 バイオマス高付加価値化の促進

●県内のバイオマスを効率的に安定して調達できる体制を整え、バイオマスを高付加価値製品に利活用する取組を促進するため、バイオマスの収集運搬・原料調達体制モデルを構築実証。

●委託先（青森バイオ技研株式会社） 1件

5 植物工場の経営安定化

●県内植物工場の早期の経営の安定化を図るため、省エネ対策、労務改善、品目の選定、販売方法など、経営安定化に必要な事項を調査し、本県に合った植物工場経営安定化モデルを実証。

●委託先（NPO法人植物工場研究会） 1件

6 研究会の開催

研究会名称	日 程	参加者数	内 容
バイオマスビジネス研究会	平成28年8月26日（青森市）	35名	①「バイオマス産業都市構想の実現による地域の活性化について」 農林水産省 東北農政局 経営・事業支援部 食品企業課課長 ②「ユーズ(株)と三浦バイオマスセンター事業(施設)の紹介」 三浦地域資源ユーズ株式会社 吉田 茂 氏
	平成28年11月10日～11日（県外）	20名	県外視察会（宮城県） ①エネ・カフェ メタン ②大崎森林組合 鳴子工場 ③有限会社千田清掃 ④アマタ株式会社 南三陸BIO
	平成29年1月24日（青森市）	40名	①「セルロースナノファイバーの特徴とその用途について」 （地独）京都市産業技術研究所 北川 和男 氏 ②「紫波町における木質バイオマス地域熱供給の取組について」 紫波グリーンエネルギー(株) 中尾 敏夫 氏
植物工場研究会	平成28年10月26日～27日（県外）	10名	県外視察会（宮城県、山形県、福島県） ①(株)イグナルファーム ②仙台市農業園芸センター ③(株)阿蘇ファームランド ④(有)安全野菜工場
	平成28年12月16日（青森市）	20名	①「植物工場の経営実態と将来動向」 株式会社三菱総合研究所 水野 友美 氏 ②「人工光植物工場事業の現状と今後の展望」 (株)木田屋商店 木田 久喜 氏
	平成29年2月10日（青森市）	35名	①「大規模施設園芸における労務管理について」 全国農業協同組合連合会 吉田 征司 氏 ②「ものづくりの力を吹き込んだ会津若松Akisaiやさい工場」 富士通ホーム&オフィスサービス(株) 野牧 宏治 氏

1 あおもり農商工連携助成事業(平成21～31年度)

あおもり農商工連携支援基金(農商工連携ファンド)の概要

【目的】

中小企業者と農林漁業者とが有機的に連携し、互いの有するノウハウ・技術等を活用することで、両者の有する強みを発揮した新商品の開発等に要する経費等に対して助成し、「青森の特性を踏まえた地域産業の形成・活性化」や「農商工連携による食品産業の強化」を図り、「生活創造社会」の実現を目指す。

【支援重点分野】

- ①「食」産業、②農工ベストミックス型産業

【助成事業】

①経営革新助成事業

- 【対象者】 中小企業者等と農林漁業者との連携体
 【対象事業】 調査、新商品・新技術・新役務の開発、販路開拓
 【助成限度額】 500万円以内(助成期間：2カ年以内)
 【助成率】 ・特定売上目標設定事業、農商工連携推進プラン関連事業 4/5以内
 ・支援重点分野または雇用創出 2/3以内
 ・その他 1/2以内

②経営革新支援機関助成事業

- 【対象者】 中小企業者と農林漁業者との連携体を支援する機関
 【対象事業】 指導助言、販路開拓支援
 【助成限度額】 100万円以内(助成期間：1カ年以内)
 【助成率】 10/10以内

【資金助成によらない支援】

- ①産業技術センターによる支援
 ②産業技術センターが中心となり、青森県、各地域金融機関、各地域力連携拠点、各農林水産関係団体のほか、各商工会議所・商工会、各大学、各市町村等の連携による総合的な支援

あおもり農商工 連携支援基金 28億円

- 運用期間：10年
- 想定運用率(国債等購入)：1.30%
- 運用益：3,640万円/年
- 管理運営者：(地独)青森県産業技術センター(H21.4設立)

運用益
で助成

中小企業
基盤整備機構
20億円

無利子貸付
10年間

青森県
5億円

無利子貸付
10年間

無利子貸付
10年間

青森銀行
1.5億円
みちのく銀行
1.5億円

助成対象事業の選定

【対象事業の選定過程】

- ①公募
- ②事前実地調査
- ③審査委員会による選定(産学官金の有識者で構成)

【対象事業の採択基準】

- ①事業実施の確実性
- ②事業化の熟度
- ③事業目標の達成見込み
- ④産業振興と雇用創出への効果

2 あおもり農商工連携プラン関連事業

H29当初 9,082千円

【現状と課題】

県では、平成18年に策定した「農工ベストミックス構想」に基づき、農工連携による新産業の創出・育成に向けて取り組んできたところ。

これらを踏まえ、平成29年2月に「あおもり農商工連携推進プラン」(事業期間平成29年度～平成33年度)を策定し、引き続き農商工連携による産業振興を一層推進していくこととしている。

<重点分野(方向性・課題)>

- ① バイオマス(発電等の取組拡大、高付加価値化)
- ② 植物工場(経営安定化・高収益化)
- ③ 農業機器等(省力化・高効率化機械等)の開発推進
- ④ 農商工連携による商品・サービス(本県ならではの資源を活用した商品開発等の一層の推進)

【事業内容】

1 農工連携産業競争力強化事業

(3,636千円)

【取組1】

バイオマスの高付加価値化に係る原料調達等の実証委託

【取組2】

バイオマス及び植物工場に関する研究会の開催

2 農商工連携成長産業化支援事業

(5,446千円)

【取組1】

農商工連携に係る普及啓発等のためのセミナー・相談会等の開催

【取組2】

専門家派遣事業

【取組3】

農業機器等に関する研究会の開催、展示会への出展支援

【事業効果】

① バイオマス

⇒高付加価値化等による本県農林水産業・商工業の活性化

②植物工場

⇒生産性向上等による雇用の確保・増加や農業の産業化

③農業機器等

⇒本県農林水産業の振興、製造業の経営基盤強化

④農商工連携による商品・サービス

⇒農林漁業者の所得向上、地域の企業等の売上向上



- 雇用の創出
- 地域経済の活性化

1 販路開拓支援セミナー

県内中小企業者及び産業支援機関職員等を対象に、販売チャネルに応じた商品戦略や県等の販路開拓支援施策の紹介により、販路拡大を目指す県内中小企業を支援するため、3地区で販路開拓支援セミナーを開催しました。(延べ参加者数 95名)

【内容】

- (1) 講演 テーマ:商談成約に向けたバイヤーへの効果的なアピールについて
 講師:新日本スーパーマーケット協会 プランニングマネージャー
 中小企業基盤整備機構 本部 プロジェクトマネージャー
 榎山 朋輝 氏
- (2) 県等の販路開拓支援施策の紹介
- ① 「スーパーマーケット・トレードショー2017」への青森県ブース出展企業募集
 - ② 青森県総合流通プラットフォーム「A!Premium」輸送サービス
 - ③ ビジネスサポートステーション事業



2 商談力・発信力アップ講習会の開催

展示商談会での販路開拓に必要なノウハウを取得するため、展示会出展のポイントや出展後のフォローなどについての講習会を開催しました。(延べ参加者数 221名)

	日 程	参加者数	内 容
スーパーマーケット・トレードショー 青森県ブース出展者事前セミナー	平成28年10月24日(青森市)	60名	スーパーマーケット・トレードショー2017 ～展示商談会の目的と活用の仕方について～
展示会出展のための事前研修会 (個別研修)	平成28年11月15日(青森市) 平成28年11月14日(弘前市) 平成28年11月16日(八戸市)	25名	展示の仕方、商談のための資料づくり
出展後のフォローアップセミナー (個別研修)	平成29年3月23日(青森市) 平成29年3月22日(弘前市) 平成29年3月24日(八戸市)	63名	展示後のフォローアップ ※取得名刺の分析、今後の商談の進め方

3 大規模商談展示会への出展支援

国内最大級の食品商談展示会「スーパーマーケット・トレードショー 2017」（主催：（一社）新日本スーパーマーケット協会、会期：平成29年2月15日（水）～2月17日（金）、会場：東京ビックサイト）へ青森県ブースを設置し、本県の食品関係事業者の大規模商談展示会への出展を支援しました。

- ・青森県ブースへの出展者数 31社
（No.28～No.31はA!Premium出展企業）
- ・来場者 計86,768名



	出展者		出展者
1	(株)新日本青果	17	(有)天間林流通加工
2	(有)せいの農園	18	(株)ヤマダイ
3	(株)駒嶺商店	19	(株)はとや製菓
4	(株)あおもり北彩館	20	桃川(株)
5	(有)アラコウ水産	21	美保野グリーン牧場(株)
6	(株)三福製麺	22	河野商店
7	ヤマモト食品(株)	23	合同会社ナチュラル青森
8	しみず食品(株)	24	千畳敷センター
9	(株)アグリーデザイン	25	(有)白神山美水館
10	(株)木村食品工業	26	PaSaPa青森・地域社会づくり研究会
11	(有)松栄堂	27	武輪水産(株)
12	(株)エイ・ワンド	28	三沢市漁業協同組合
13	(有)しんぼり	29	(株)岡崎屋
14	(株)つがる	30	(株)弘前丸魚
15	(株)館山	31	(有)ヤマトミ食品
16	(株)木戸食品		

目的

県内中小企業(食品製造業等)等を対象に、首都圏での大規模展示・商談会への出展を契機とした戦略的・計画的な商品の売り込みを支援し中小企業等の販売力の向上と競争力の強化による販路拡大と外貨獲得を推進します。

事業概要

【現状・課題】

【現状】

- 売り上手あおもり推進事業(24~25年度)
 - ・内容 商談対応力・広報力向上研修等
 - ・成果 商談対応力等の必要性に関する理解の向上
- あおもり元気企業販路拡大支援事業(26~27年度)
 - ・内容 セミナー開催、展示会出展支援等
 - ・成果 商談実現等の効果は出てきているが、セミナーに参加しても資金不足で出展を見送る企業や出展してもうまく商談できない企業が存在



【課題】

- 自社商品(地域資源等を活用した地域産品)の積極的な情報発信力の強化が必要
- 資金に余裕がない事業者への県外大規模展示・商談会への出展機会の提供が必要
- 展示・商談会での効果的な商品の売り込み(特に出展後の契約取引実現)等に関するノウハウが必要

【事業内容】

【概要】

県内中小企業等を対象に、展示・商談会への出展支援、出展ノウハウや出展後のフォローアップ等に係る個別指導等を行い、販路開拓に係る意識醸成とスキルアップを図る。

◆「売り上手あおもり」推進事業(部局政策経費 2,425千円)

取組1 商談力・発信力強化セミナーの開催(2,425千円)

販路開拓を目指す県内中小企業等を対象に、販路開拓の手法及び各種媒体の効果的な活用方法等、商談力・発信力強化のためのセミナーを開催

◆あおもり元気企業販売力パワーアップ事業(重点 9,620千円)

取組2 展示・商談会出展支援(8,755千円)

首都圏の大規模展示・商談会に「青森県ブース」を設置し、専門家のサポートにより、県内中小企業等の出展・商談を支援

- ・2月 スーパーマーケット・トレードショー(国内最大級)
- ・3月 FOOD EX JAPAN(アジア最大級)

※「AI Premium」輸送サービス活用事業との連携(港湾空港課)

取組3 出展者フォローアップ(865千円)

展示・商談会後の契約取引実現のための商談の進め方等について、出展企業ごとに専門家のアドバイス(取得名刺の分析・活用、見込み客への対応等)を実施

【事業効果】

販路拡大

- 自ら展示・商談会へ出展するスキルの取得
- 販路開拓による売上げ増加
- 地域産品の情報発信力の向上
- 市場調査・トレンド把握による新商品開発



外貨獲得

地域ブランドの確立

地域経済の好循環



《伝統工芸産業の振興》

伝統的工芸品振興事業

伝統工芸品の指定及び伝統工芸士の認定

①伝統工芸品の指定

【目的】

青森県の歴史と風土に培われ、県民の生活の中で育み受け継がれてきた工芸品を、青森県伝統工芸品として指定することにより、その声価を高め、工芸品の製造に携わる事業者等の製造意欲の高揚及び工芸品産業の育成・振興を図る。

【指定要件】

1. 主として、日常生活の用に供される工芸品であること。
2. その製造工程の主要部分が手工業的であること。
3. 伝統的な技術又は技法により製造されるものであること。
4. 原材料が伝統的に使用されてきたものであること。
5. 当該工芸品が、概ね50年以上の歴史を有するものであること。

【指定件数】

31工芸品68製造者(平成28年12月現在)

▼平成28年度新規工芸品指定・工芸士認定
下川原焼土人形 阿保正志氏の製品



②伝統工芸士の認定

【目的】

県指定伝統工芸品の製造に従事している技術者のうち、高度の技術・技法を保持する者を県伝統工芸士と認定することにより、社会的な評価を高めるとともに、従事意欲と技術の向上を図り、伝統的技術又は技法の指導者として、工芸品の振興、後継者の育成と伝統工芸品の次世代への継承に寄与する。

【認定要件】

1. 青森県内に居住していること。
2. 伝統工芸品の製造の実務経験が12年以上あり、かつ現在もその製造に従事していること。
3. 伝統工芸品の製造に関する高度の技術又は技法及び必要な知識を有し、その維持又は発展に努めていること。
4. 後継者育成に熱意のある人。
5. 青森県伝統工芸士にふさわしい高潔な人格を有すること。
6. 経済産業大臣認定の伝統工芸士でない人。

【認定件数】

58名(平成28年12月現在)

▼平成28年度新規工芸士認定
きみがらスリッパ 古館よしえ氏の製品



《伝統工芸産業の振興》

伝統工芸品等首都圏マーケティング事業（平成28年度の実績）

（１）事業説明会の開催

本県工芸品製造者等を対象に、事業概要を説明するとともに、消費者に愛される商品づくりと販路開拓をテーマにしたセミナーを併催し、事業参加者を広く募集した。

①八戸会場

開催日 平成28年5月25日（水）

講師 メイト・イン・ジャパン・プロジェクト(株)
統括マネージャー 松坂 香里 氏

参加者 16名

②弘前会場

開催日 平成28年6月8日（水）

講師 メイト・イン・ジャパン・プロジェクト(株)
代表取締役 赤瀬 浩成 氏

参加者 21名

③青森会場

開催日 平成28年6月9日（木）

講師 メイト・イン・ジャパン・プロジェクト(株)
代表取締役 赤瀬 浩成 氏

参加者 14名



（２）販路開拓等に向けた研究会

事業参加者を対象に、首都圏への販路開拓に当たっての課題について、専門家からの個別指導及びセミナーを実施した。

①第1回（個別指導）

開催日 平成28年7月12日～13日

参加者 10名

②第2回（個別指導）

開催日 平成28年7月19日～20日

参加者 17名

③第3回（全体研修）

開催日 平成28年8月31日

参加者 18名

④販路開拓セミナー「地域の強みを活かしたブランドづくり」

開催日 平成28年10月19日

講師 株式会社TRUNK 代表取締役 桐山 登士樹 氏

参加者 35名



《伝統工芸産業の振興》

(3) 商品選定アドバイスの実施

テスト販売に向け、専門家による個別訪問等により、商品開発・選定アドバイスを実施した。

①第1回 個別指導

開催日 平成28年9月14日

参加者 7名

②第2回 個別指導

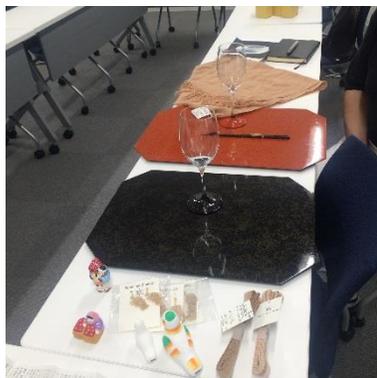
開催日 平成28年9月23日

参加者 16名

③商品選定会及び個別指導

開催日 平成28年10月19日～20日

参加者 18名



▲PR冊子



▲店内POP

(4) テストマーケティングの実施

外国人観光客も多く訪れる首都圏の工芸品販売店において12月の1ヶ月間、テスト販売及びPRを行った。

①テスト販売「青森展」概要

◆期間 平成28年12月1日～31日

◆場所 東京ミッドタウン ガレリア3階 「THE COVER NIPPON」

◆出品商品 14事業者 約100商品

◆売上点数 約400点

◆売上総額 2,149千円

◆来場者数 24,066人

◆PR方法 PR冊子(カラーA5判 10,000部)の作成・配布
東京ミッドタウン館内モニターでの情報発信
店舗HPによる情報配信



▲テスト販売「青森展」の様子



1 伝統的工芸品振興事業 29年度当初予算額 410千円

県内の伝統工芸の振興を図り、産地の自立的発展を促進するため、従事者の意識向上と工芸品のPRに資する各種施策を実施するとともに、関係団体が行う伝統工芸振興事業に対して支援を行います。

(1) 伝統工芸品の指定及び伝統工芸士の認定

青森県伝統工芸指定審査会を運営し、伝統工芸品及び伝統工芸士の認定を行います。

(2) 伝統工芸振興事業への支援

関係団体が行う伝統工芸振興事業への支援を行うほか、各種イベントでの伝統工芸品パンフレットの配布等を行います。

2 伝統工芸品等首都圏マーケティング事業(平成28～29年度) 29年度当初予算額 6,360千円

青森県の伝統工芸品等の販路開拓に意欲がある県内工芸品製造者等を対象に、消費者ニーズに直結した商品開発・改良や、流通、販売、フォローアップまでトータルで支援することで、首都圏における県内工芸品等の認知度と商品競争力の向上を図ります。

(1) 販路開拓等に向けた研修会の開催

首都圏に向けた販路開拓を進めるに当たっての課題の整理を行った上で、必要なマーケティング、商品開発・改良、流通、販売等に係る幅広いノウハウについて、専門家からのアドバイスを実施します。

(2) テストマーケティングの実施

① 事前指導の実施

首都圏でのテストマーケティングの実施に向け、平成28年度の事例報告やアドバイスを行う事前説明会及び商品選定会を開催します。

② テストマーケティングの実施

外国人観光客も訪れる首都圏の工芸品販売店において、約1ヶ月間のテストマーケティングを実施するとともに、首都圏消費者等に広く情報発信します。

③ フィードバック研修会の開催

テストマーケティングにおける結果を分析し、参加者にフィードバックするとともに、更なるブラッシュアップに向けたアドバイスを行います。

伝統工芸品等首都圏マーケティング事業(6,360千円)

商工労働部
地域産業課

【戦略キーワード】
地域資源をとことん生かした
魅力ある「しごとづくり」

本県伝統工芸品等の販路開拓に意欲がある県内工芸品製造者等を対象に、消費者ニーズに直結した商品開発・改良や、流通、販売、フォローアップまでトータルで支援することで、首都圏における県内工芸品等の認知度と商品競争力の向上を図る。

現状・課題

本県工芸品を取り巻く現状

- ◆生活様式の変化や安価な量産品の拡大により、全国的に伝統工芸品産業は低迷している。
しかし、外国人観光客の増加により日本の伝統的文化や産業が再認識されており、2020年東京オリンピック開催も追い風に、工芸品産業の活性化に向けた取組を行う好機。
- ◆首都圏での本県の伝統工芸品等は一般的に認知度が低いが、「こぎん刺し」が首都圏百貨店の催事で取り上げられるなど、注目を浴び始めている。

課題1 首都圏での認知度向上

- ◆平成26-27「伝統工芸価値再発見プロモーション促進事業」により、県内での認知度獲得には一定の成果。
- ◆首都圏での認知度はまだまだ十分ではなく、販売促進・PR活動を強化していく必要がある。

課題2 首都圏向け商品開発の強化

- ◆首都圏消費者や外国人観光客のニーズを踏まえた商品開発を行う必要がある。
- ◆首都圏のマーケットでも通用する商品競争力を高める必要がある。

課題3 販路開拓の意欲向上

- ◆人員・資金面などの理由から、県外での販路開拓に取り組む経験が少ない工芸品製造者に対して経験の場を提供し意欲の向上を図るとともに、販路開拓に当たっての課題解決に向けた検討が必要。

事業内容

概要

首都圏、外国人観光客のマーケットを見据えた商品開発及び販路開拓につなげるため、意欲がある事業者を対象に、販路開拓等に当たっての課題解決に向けた研修を実施した上で、首都圏においてテストマーケティングを実施し、成果を広く周知する。【事業期間】平成28～29年度

取組1 販路開拓等に向けた研修会(774千円)

意欲のある事業者の販路開拓に当たっての課題の整理及び課題解決の方向性等について、専門家の助言を得ながら検討する。(年3回)

取組2 テストマーケティングの実施(5,586千円)

●事前指導の実施

テストマーケティングの実施に向け、H28年度の事例報告やアドバイスを行う事前説明会及び商品選定会を実施する。
【開催場所】青森市、弘前市、八戸市(各市15名程度)

●テストマーケティングの実施

外国人観光客も多く訪れる首都圏の工芸品販売店においてテストマーケティングを実施し、PRする。
【実施場所】集客力のある首都圏の工芸品販売店
【実施期間】約1ヶ月間×1回
※H28テストマーケティングの結果を踏まえブラッシュアップを行った成果を実証する。

●フィードバック研修会の実施

テストマーケティングの結果を受けて、参加者に必要なアドバイスを行うための研修会及び個別指導を実施する。

事業効果

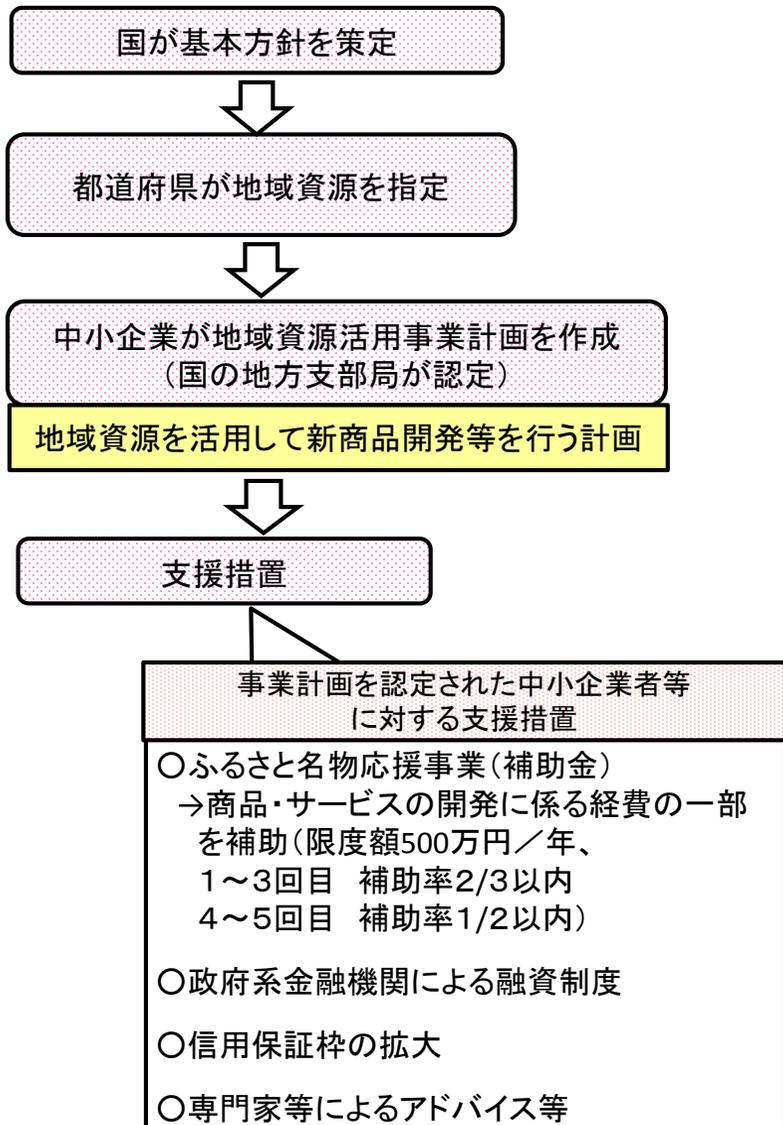
- 首都圏等の消費者ニーズに直結した商品開発
- 首都圏における本県工芸品の認知度アップ
- 首都圏への販路開拓
- 本県工芸品の商品競争力の底上げ



- 販路拡大
- 外貨獲得
- 青森ブランドの確立
- 伝統工芸品産業の活性化

《中小企業地域資源活用プログラムによる支援》

中小企業地域資源活用プログラム



「地域資源」とは

- (1) 地域の特産物として相当程度認識されている農林水産物や鉱工業品
- (2) 地域の特産物である鉱工業品の生産に係る技術
- (3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域観光資源として相当程度認識されているもの

青森県の地域産業資源 【平成29年4月1日現在】

農林水産物	鉱工業品	観光資源	合計
122	85	108	315

東北各県の計画認定件数 (平成29年4月1日現在)

東北地域合計	141件
青森県	35件
岩手県	17件
秋田県	16件
宮城県	23件
山形県	32件
福島県	18件

《中小企業地域資源活用プログラムによる支援》

地域資源活用事業認定計画認定事業者

認定年度	事業者名	活用する地域資源	認定年度	事業者名	活用する地域資源
19	ブナコ漆器製造(株)(弘前市)	ブナ材	25	(株)今井産業(平川市)	りんご、杉材
20	(株)ディメール(八戸市)	サバ		(株)ツガルサイコー(黒石市)	お山のおもしえ学校
	(株)スパン・ライフ(八戸市)	にんにく		(有)柏崎青果(おいらせ町)	ごぼう
	十和田おいらせ農業協同組合(十和田市)	にんにく		(有)村口産業(風間浦村)	青森ヒバ
	(有)十和田乗馬倶楽部(十和田市)	乗馬場		なんぶ農援(株)(南部町)	妙丹柿
21	(有)田向商店(青森市)	サメ	26	つがるりんごセラミド(株)(弘前市)	りんご
	ミリオン(株)(青森市)	ながいも		(有)サンマモルワイナリー(むつ市)	りんご
	青い森国土保全協同組合(つがる市)	杉		河野商店(むつ市)	アピオス
22	(有)ゆめりんご(弘前市)	岩木山	27	(有)十和田乗馬倶楽部(十和田市)	流鏝馬
	(有)蔦温泉旅館(十和田市)	蔦温泉		(有)島木材工業(大間市)	青森ヒバ
23	(有)イシオカ工芸(弘前市)	津軽塗		日本ハルマ(株)(弘前市)	りんご
	(有)アラコウ水産(平内町)	ホタテ・ナマコ		山野りんご(株)(弘前市)	りんご
	農業生産法人合同会社津軽ぶどう楽園(鶴田町)	スチューベン(ぶどう)		(株)北彩屋(むつ市)	ニジマス、イカ
	(株)駒嶺商店(風間浦村)	あんこう	28	(株)エビサワ農園(東北町)	ヤーコン、にんにく
24	あおもり藍産業協同組合(青森市)	藍		Yプロジェクト(株)(大間町)	あわび、イカ、うに、大間マグロ、こんぶ、サクラマス、ツルアラメ、青森ヒバ、大間港、大間崎、大函丸
	三浦醸造(青森市)	りんご		(有)こめいち奥本商店(佐井村)	ナマコ
	熊谷食品(株)(弘前市)	津軽の漬物			
	農業生産法人四季菜にんにく(株)(三戸町)	にんにく			
	(株)菊駒酒造(五戸町)	青森県の日本酒			